

※今月のみ受注の書目です。

経済学 / 政治学

良い政府の政治経済学 (仮)



(2024年7月中旬刊行予定)

ティモシー・ベスレー (オックスフォード大学教授)[著] /

溝口哲郎 (高崎経済大学教授)[訳] / 下松真之 [解説]

A5判並製 / 330頁 税込予価 4,400円 ISBN978-4-7664-2973-2 C3033

👉ココに注目!

- ・民主主義体制における政府や政治家の行動を理論化した「政治経済学」の中級テキスト。
- ・「良い政府」とは何か? この問題を考えるすべての人にヒントとツールを与える。

国民は選挙を通じて自らが望む政策を実現する政治家をどう選び、正しく政策を実行させるかという民主主義の基本問題の理論モデルが、これまでの政治学には存在しなかった。経済理論を用いてこの問題を分析するのが「政治経済学」である。本書はこの分野の第一人者が、自らの研究等を踏まえて整理したテキスト。

対象 経済学部の特設課程以上 / 公務員

類書 北村周平『民主主義の経済学——社会変革のための思考法』(日経BP)

【営業部からのおすすめポイント】

外交、国内政治、有事の対応など、様々な場面に於ける政府の動向は注目度を増しています。そもそも、そこには、「政府」は「賢い主体」であるという前提がありますが、政府の失敗を目にするたびに、それを疑わざるを得なくなります。本書では、なぜ政府が失敗するのか、経済学の知見から紐解き、国民が政治家の行動責任をどう問えばよいかを明らかにします。主な読者対象は経済学部3年生以上ですが、「政治経済学」のテキスト自体が数少なかったため、幅広い層からの関心が期待できます。

(吉川)

👉 **主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!**

【主要目次】

第1章 政府の競争的な見方

- 1.1 論点
- 1.2 本書について
- 1.3 背景（政府の規模／腐敗／所有権／信頼）
- 1.4 経済政策の立案
- 1.5 政治経済学
- 1.6 インセンティブと政治の選択
- 1.7 まとめ

第2章 「政府の失敗」の解剖

- 2.1 はじめに
- 2.2 「政府の失敗」の3つの概念
- 2.3 事例：公共プロジェクトの資金調達
- 2.4 政府の失敗の原因
- 2.5 政治の失敗の原因
- 2.6 動学
- 2.7 政策的な含意
- 2.8 まとめ

第3章 政治的エージェンシーと説明責任

- 3.1 はじめに
- 3.2 政治的エージェンシー・モデル
- 3.3 基本モデル
- 3.4 モデルの拡張
- 3.5 市民の美德と政府の質についての議論
- 3.6 まとめ

第4章 政治的エージェンシーと財政（マイケル・スマートとの共著）

- 4.1 はじめに
- 4.2 モデル
- 4.3 3つのシナリオ（純粋な逆選択／純粋なモラルハザード／結合モデル）
- 4.4 含意
- 4.5 政府を抑制する
- 4.6 負債と赤字
- 4.7 政府 vs NGO
- 4.8 能力
- 4.9 まとめ

第5章 結論にかえて



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



新刊委託	番線	ご注文部数	テイモシー・バスレー 著／溝口哲郎 訳／ 下松真之 解説 良い政府の政治経済学（仮） ISBN978-4-7664-2973-2 C3033 発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
				4,400 円	★★★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	レイ・フィスマン、ミリアム・A・ゴールドデン 著／ 山形浩生、守岡桜 訳／溝口哲郎 解説 コラプション —なぜ汚職は起こるのか ISBN978-4-7664-2626-7 C0030 発行所：慶應義塾大学出版会	定価	/
				2,970 円	